

埼玉県立文書館を活用した講習

福島 巖

はじめに

歴史は暗記科目ではなく、歴史的思考力を育成する科目であるとの観点から、現在の歴史教育界ではアクティブ・ラーニング型授業の研究、ICT教材を活用した授業など多くの先生方が授業の工夫をおこなっている。いずれの方法も私が高校生の頃にはなかった画期的なものであり、平常授業での工夫や実践の報告は増えてきたと感じる。私も知識構成型ジグソー法による研究授業や史料を用いた討論型授業^①などを実践してきた。

教師が多忙化している一方、学校では長期休業中に講習の開催も期待される。私は運動部の監督のため、長期休業中は遠征の日々であるが、そうした中で日本史好きの生徒に何かできないかと考えていたところ、埼玉県立文書館の新井浩文学芸主幹から生徒を連れて行く機会を与えられた。

二〇一三年に埼玉県高校教育指導課によって設置された埼玉県高等学校教育課程改善委員会の委員に、文書館から新井学芸主幹など学芸員三名と教員からは私を含めた八名が任命され、これを機に新井学芸主幹と親しく仕事をすることになった。私が二〇一四年に文書館史料を用いた研究授業をおこなった際には、しばしば文書館へ通い変体仮名の解説のアドバイスをいただいた。一方、新井学芸主幹は教員や生徒による埼玉県立文書館の利用促進を考えていた。文書館では長期休業中に小学生向けに講座をおこなっているが、小学生では歴史的内容には深く踏み込めない。それに比べ、高校生であれば文書館史料を使い、より歴史的内容に踏み込める。史料は館外へ持ち出せないため、高校生に文書館へ来てもらいたいと考えていた。その考えを伺い、私も史料を間近で見ることができるとは、高校生にとって刺激になるだろうと思い、長期休業中に生徒を連れて見学に行くこととなった。

今回の報告は、二〇一六年の冬季休業中の実践であるが、二〇一五年の夏季にも同様の実践をおこなっている。長期休業中に生徒が歴史を身近に感じ関心意欲を高める方法として、指導にあたる先生方の一助となればと思いい、今回の提案をおこなう。

一 実践の概要

- (1) 日時 二〇一六年二月二十七日(火) 一三～一五時
- (2) 場所 埼玉県立文書館
- (3) 募集対象 本校一～三年生(参加者は二年生四名)
- (4) 勤務校の概要

本校の生徒は九〇%以上が大学進学を志望する進学型単位制高校で、六五分授業をおこなっている。文系生徒は約三二〇名中二二〇名で、選択必修(二年生四単位+三年生二単位)として日本史または地理を履修する。その中で日本史受験予定者は約一二〇名である。

二〇一五年夏の参加者には史学科志望者はいなかったが、今回の参加者は四名中三名が史学科志望者で、これには驚きと喜びがあった。

二 当日の様子

(1) 文書館の位置付け及び埼玉県立文書館の案内

新井学芸主幹より文書館の位置付けについて「文書館は図書館や博物館と機能が異なる施設」との説明を受けた。収蔵物は、一部が国の重要文化財に指定されている明治初年以來の県の行政文書(公文書)や武家文書・寺社文書・名主文書などの古文

書、その他地図や航空写真などがある。埼玉県立文書館は、埼玉県の記憶装置として過去から現在までの記録資料を保管する施設で、古文書から現代の行政文書まで切れ目なく扱っているとのことであった。説明を受けている間に文書館利用証を作成してもらった。

(2) 館内の案内

一階にある展示室と収蔵庫の見学をおこなった。展示室は展示替えのため企画展はなく、通常展示であった。収蔵庫見学では、文書の保存状態を見せていただいた。カビの発生に気をつけるため、除湿機を備え、湿度と温度を一定に保っていた。委託された文書は分類して一点ずつ袋に入れ、専用の段ボール箱に入れ棚に並べられている。文書がもともと入っていた木箱も保存されており、こちらも見る事ができた。またこの日は、ガラス乾板をデジタルカメラで撮影して、写真をデジタル化する作業中で、約一〇〇年前の写真を複写している様子を見学できた。作業の見学は、史学科を目指す生徒にとって刺激的であり、進路指導としても研究機関を訪れることは有効である。

(3) 文書の閲覧

二年生は二学期終了段階で江戸幕府の成立までの授業が終わっている。そこで、文書館の検索システムから、中世から江戸時代初期の頃の文書と地元越谷に関係する文書を請求した。以

下が今回閲覧した文書である。

- ・源頼朝寄進状 小室家七六七
- ・後醍醐天皇繪旨 法華寺一
- ・足利尊氏御教書 法華寺二
- ・織田信長印判状 西角井家六四三八
- ・後北条氏印判状 浦和宿本陣一
- ・豊臣秀吉禁制 浦和宿本陣二
- ・浅野長吉禁制 浦和宿本陣三
- ・徳川秀忠朱印状 西角井家六〇九四
- ・徳川家光朱印状 西角井家六一〇四

図1は、足利尊氏御教書と後醍醐天皇繪旨を前に、新井学芸主幹が署名の部分指着して何が書いてあるか、生徒に質問している様子である。博物館とは異なりガラス越しではなく、文書にかなり接近して見ることができた。一人の生徒が「尊」の文字に気づき、足利尊氏であることがわかった。隣の後醍醐天皇繪旨（巻末図版参照）がなぜ薄墨色なのかという質問に対しては「授業でやった。再生紙。」との声が出て、漉きかえしで繪旨はこの色になっていることを説明された。

次に西角井家文書の寺領朱印状を閲覧した。西角井家は江戸時代より大宮の氷川神社の神主職を世襲した家である。寺領朱印状は諸国寺社朱印状で、明治政府により回収され裁断された

ものを明治時代の当主が買い求めたものである。寺領朱印状の「元和二年」は西暦で何年かを教科書やインターネットで調べさせ、当時の將軍徳川秀忠の朱印状であることがわかった。そして文書中の「武蔵国騎西腰谷」から、生徒たちは地元の名であることに気づいた。

この史料は裁断されていたが、上下両方が現存していたため修復して一枚になっている。朱印状は想像以上に大きく、権威の象徴として大きな紙を使っていることを新井学芸主幹は強調



図1 新井学芸主幹と生徒たち

した。教科書や資料集には大きさも掲載されているが、本物を見ないとその大きさは実感できない。寛永年間の同様の朱印状で上半分のものも閲覧した。徳川家光時代の天嶽寺の文書である（天嶽寺は学校のすぐ裏にある）との説明に、私が「上半分だけで天嶽寺に宛てた文書かどうかどうしてわかるのか」と質問したところ、文書に「拾」の字が見えるので、越谷市内で一〇石以上を安堵されている寺は限られており、寺にも写しがあるのではないかと教えていただいた。専門家の意見をすぐに聞くことができるので、教員も勉強になる。後日『越谷市史 三 史料一』（一九七三年）で確認すると、天嶽寺の寺領朱印状写では、寺領「拾五石」とあり、越ヶ谷郷内の寺院に出された寺領朱印状写の中で「拾」から始まるものは他に見当たらなかった。

最後に、浦和宿に関する文書を閲覧した。後北条氏の浦和宿の安堵状、小田原攻めによる豊臣秀吉の禁制（図2）、そして復興に向けた責任者浅野長吉（長政）の文書である。これらは時代順に同じ卷子に装丁されている。三通を比較すると、明らかに秀吉の禁制が大きい紙を使用している。大きさが権威の象徴であることを生徒も納得した様子であった。新井学芸主幹はさらに「浦和宿」の文字の字体が他と異なっていることに注目させ、対象地を空白にした禁制を戦場へ多数持って行き、必要

に応じて、お金を払った寺社や郷村に対し発給したことを説明した。

秀吉の禁制の前には、後北条氏の出した虎の印判状があった。「誰の文書であるか」という問いに対して、生徒は当時の関東の支配者から、かろうじて後北条氏を答えた。秀吉の禁制の後にある浦和市宛の文書の発給者「弾正少弼」は誰かと新井学芸

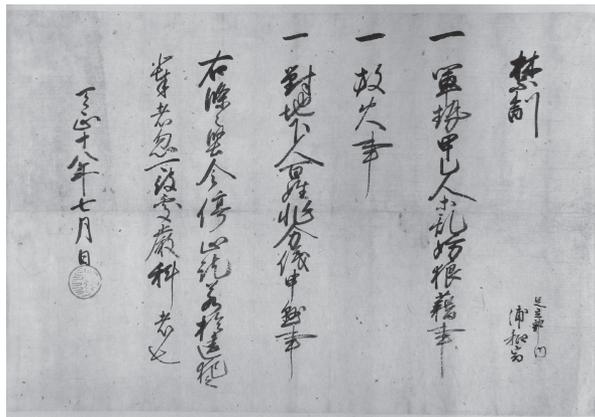


図2 豊臣秀吉禁制（浦和宿本陣文書2，埼玉県立文書館蔵）

主幹が質問したが、生徒はわからない。私たちは教科書を出して「太閤検地」の史料中に「浅野弾正少弼」とあるのを確認させた。出典として「浅野家文書」との記述もある。岩槻城攻めの中心であった浅野長政が浦和の市に向けて、復興を促した文書であった。授業中には浅野長政について深く取り上げることができなかったが、当時のこの地域の人にとっては重要な人物であったのだ。一斉授業で「五奉行は：」とやっても生徒の印象には残りにくい。今回のように本物を前にして文書を読み、意味がわかってこそ生徒は納得できるのではないだろうか。

三 生徒の感想

Aさん（史学科志望）

初めてここに来て、博物館でもないし、図書館とも違って不思議な感じがしました。資料がたくさん入っている倉庫？ 普段は見えないようなところなのですごくワクワクしました。リアルプラタモリみたいで楽しかったです。また、資料が入っていた木箱や資料を大きくした写真も見れて良かったです。古文書も見るのは楽しいけれど昔の人の写真を見るのもおもしろかったです。実物の古文書は初めて見たけれど、やっぱりほとんどが読めなかったのが残念です。でも先生たちの解説が大変わかりやすく最後まで楽しかったです。

Bさん（文学部志望）

来る前は文書館というのがどのような所なのか分からなかったけど、図書館でも博物館でもない所だというのがとてもしっくりきました。昔の写真がガラスだったの知らなくてびっくりしました。とてもきれいに残されていて、生活感のある写真を見て、昔の人がどんな暮らしをしていたか、何を考えていたか想像しやすくおもしろかったです。また、本物の資料を間近で見るという貴重な経験もできました。お話を聞いて、昔の埼玉にも有名な人が来ていて関わりがあったことを知れてよかったです。もっと文字を解説できるように、勉強しようと思いました。今日はありがとうございました。

Cさん（教育学部、または史学科志望）

今日初めて文書館のことを詳しく知り、まず手にとって古文書などを見たりできるといふことにとても驚きました！ 博物館で見たときとまた違う印象を受けました。私は後醍醐天皇や足利尊氏のことに興味があったので、古文書が見れて嬉しかったです。また、武将は戦いの指揮をとるほかにこんな文書をきつとたくさん書いているんだと思うと大変だなと感じました。浦和や越谷という身近な地名も書かれていて、こういうのが見れるのは県の文書館ならではのなと思いました。たくさん解説やクイズを出していたので、色んな新しいことも知る

ことができました。本日は本当にありがとうございました。

Dさん（史学科志望）

今回、初めて古文書を近くではっきり見て、お話を聞くことができ、すごく勉強になりました。普段の授業だけでは見ることのできなかつた貴重なものを見せていただけで、初めて触れるものだったので面白かったです。昔の資料をはっきりと何百年も現在でも閲覧することができなんて驚きました。博物館とも図書館とも違うところが今日講習を受けてみて新鮮に感じました。実際に資料や現物を見てみると、授業だけでは知り得なかつた、歴史の背景を知ることができ、歴史に対する興味も講習を受ける前より高まりました。今日、この図書館に来なければ知ることのできなかつた新しいことを学ぶことができ、よかったです。本日はありがとうございました。

おわりに

Aさんは、収蔵庫を見学した時に「すごくワクワクしている。収蔵庫見学は事前の打ち合わせで入れておいた。当日、実際に仕事をしている職員がいたことで、文書館の仕事への理解がより深まり、史学科を目指す生徒の進路指導にもなっている。同様の講習をおこなう際には、どこまで見学できるのかを文書館側としっかり打ち合わせをすると良いだろう。

Bさんは「昔の埼玉にも有名な人が来ていて関わりがあったことを知れてよかった」と感じている。Bさんは今まで歴史上の人物が自分とは関わりのない遠い存在であると考えていたが、今回の見学で身近な存在として感じてくれた。そして、史料読解やくずし字の勉強への興味・関心を高めることができた。

Cさんは「武将は戦いの指揮をとるほかにこんな文書を」書いて、通常時には支配地域の経営者であったことに気づいた。「浦和や越谷という身近な地名」があったことから、文書館は地元の史料を閲覧できる県の重要な施設であることにも気づいた。

Dさんは、何百年も前の史料を「現在でも閲覧することができなんて驚き」、感動した様子がかがえる。また、「資料や現物を見てみると、授業だけでは知り得なかつた、歴史の背景を知ることができ、歴史に対する興味も」以前よりも高まり、史料を通して史実を知ることができた喜びが感じられる。

今回の講習は二時間であったが、効果は大きかったように感じる。百聞は一見にしかずという言葉があるが、授業で受けた説明よりも、本物を見た方が印象に残ったことも多かつたと思う。ぜひ、埼玉県内の学校や他県でも本物の文書に触れる機会をつくっていただけたらと思う。

先生方が同様な実践をやりうと考えた場合、何から始めれば

良いか。まずは教員自身が施設の利用者になり、担当者として親しくなることである。その後、どのような活動ができるかを打ち合わせる。生徒を校外に連れて行くことから、学校や保護者の理解も必要である。管理職へは企画の説明をおこない許可を得る。超えなければならぬ問題はいくつがあるが、ぜひ初めの一歩を踏み出してもらいたい。

最後に、年末のお忙しい中対応してくださった新井浩文学芸主幹をはじめ埼玉県立文書館の職員の方々に改めて御礼申し上げます。

註

(1) 平成二八年度全国歴史教育研究協議会埼玉大会において、「埼玉県立文書館史料を活用した「歴史の論述」授業」を発表した。

(2) 詳しくは埼玉県立文書館ホームページ (<http://www.monjospaced.jp/>) を参照していただきたい。
(ふくしま・いわお／埼玉県立越ヶ谷高等学校教諭)

表でまとめる 日本文化史

日本の文化史の紛らわしい項目を関連づけて、表にまとめた問題集。表にまとめることで重要項目が整理されて忘れにくい。理解を助ける覚え方のコツも掲載。『詳説日本史 改訂版』（日B309）に準拠。

菅野晴夫 = 編著

B5判 本体 750 円 (税別)
104 頁 ISBN : 978-4-634-01071-0

表でまとめる
日本文化史

詳説日本史 改訂版 (BB309) 準拠
菅野晴夫 編著

文化史が苦手なあなたへ!

文化史の極意は分類・整理にあり。
紛らわしい項目を関連づけて
表にまとめるから、わかりやすい。
わかるから、好きになる! 得意になる!

【詳説日本史 改訂版】
(BB309)のページ数を掲載

SHUNSEI
定価 498円(税別)